本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

電子アナログ表示＋デジタル表示

マルチアラーム・タイマー・1/100秒ストップウオッチ・デュアルタイム

TWIN GRAPH II 809

使用説明書

809

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

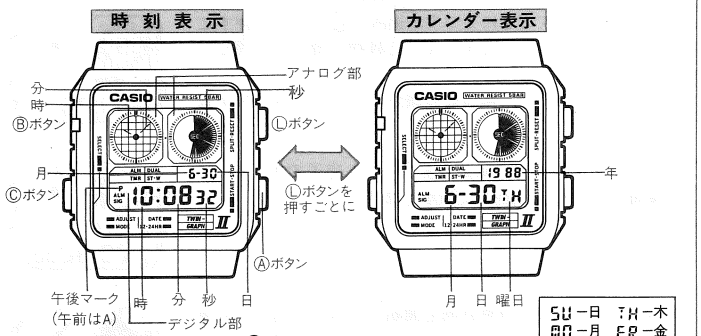
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順で表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

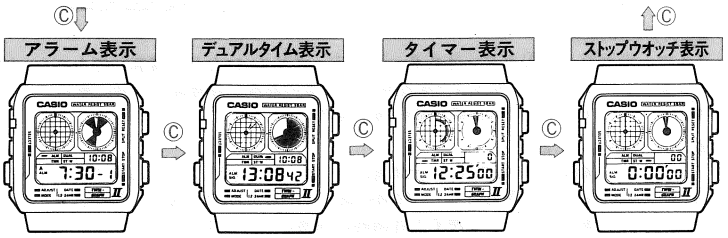
時刻・カレンダー表示



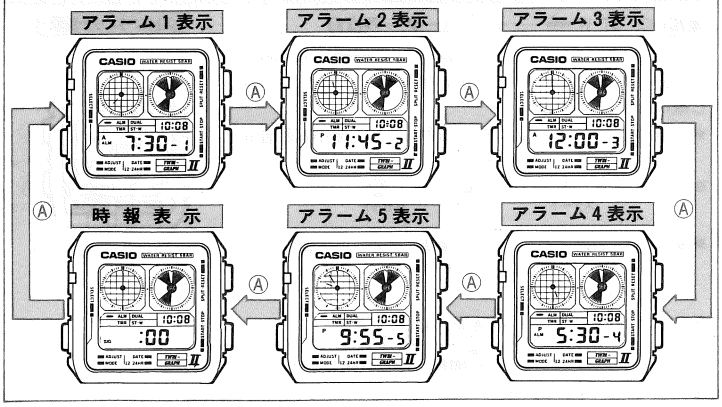
- デジタル部が時刻表示のときにⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。

〈曜日の見方〉

SU－日	TH－木
MO－月	FR－金
TU－火	SA－土
WE－水	



アラームモードではⒶボタンを押すごとに以下の順で各アラーム表示および時報表示が切替わります。※くわしくはアラームの使い方をごらんください。



秒の合わせ方……30秒以内の遅れ・進みの修正

※時刻表示、カレンダー表示のどちらの表示でも修正することができます。
デジタル部の「秒合わせ」をおこなうと、アナログ部の「秒合わせ」も自動的におこなわれます。

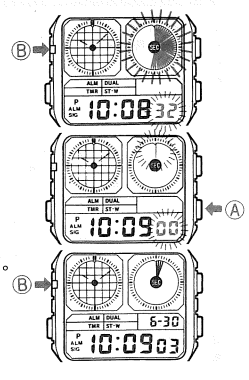
(1)時刻表示(カレンダー表示)のときⒷボタンを押すとデジタル時刻表示とアナログ部の「秒」が点滅します。

(2)時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、秒合わせは完了します。

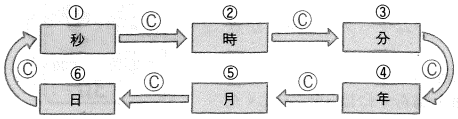


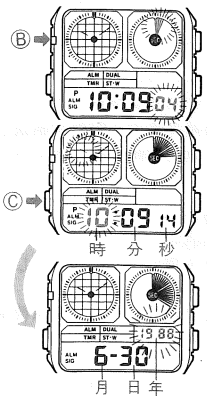
時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。
※アナログ部はデジタル時刻と連動していますので合わせる必要はありません。

(1)時刻表示(カレンダー表示)のときⒷボタンを押します。
確認 ⇨ デジタル部とアナログ部の「秒」が点滅していますか？

(2)Ⓒボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？
※Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所が修正可能です。



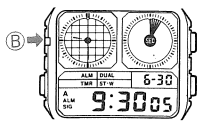


(3)合わせたい個所でⒶボタンを押します。
確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？
※Ⓐボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進みⓁボタンを押すごとに1つずつもどります。押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンで修正したい個所を点滅させ、Ⓐ・Ⓛボタンで表示を修正する操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注1)「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。
注2) 24時間制のときも同じ方法で合わせられます。

(4)合わせ終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。



※「曜日」は「年」・「月」・「日」をあわせれば自動的にセットされます。

- カレンダーはうるう年および大の月・小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので電池交換時以外は修正不要です。

※1980年1月1日～2019年12月31日までセットできます。

ご使用上の注意

■防水性 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。
・20気圧(200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示)および30気圧(300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示)防水の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング(アクアラング)などで使用できます。
・10気圧防水(100M相当)〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
・5気圧防水(50M相当)〈表または裏に5 BARまたは50Mと表示〉の場合。水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
・BARまたはMの表示のないもの。洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査をおこないますので、必ずお買上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
■バンド バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
■お手入れ ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
■温 度 直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。
■ショック 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
■磁 気 家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。
■薬品類 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
■保 管 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。
※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

■最初の電池 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
■消 耗 電池が消耗しますと時刻の狂いが目立ったり、止まったりします。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
■電池交換 電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

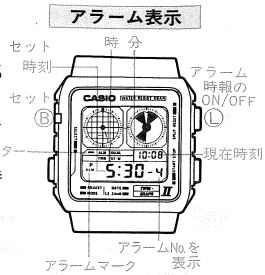
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

RE0415080IA

アラームの使い方……操作のしくみにしたがい©ボタンを押してアラーム表示にします。

確認 ⇨ ▬ ALM——インジケーターの点灯

アラームは分単位で5つのアラーム時刻がセットでき、セット時刻になると20秒間の電子ブザーと、アナログ部とアラームマーク〝**ALM**〟の点滅で知らせます。
また、毎正時(00分のとき)を〝ピッピッ〟と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。
※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

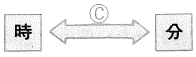


●セットのしかた

(1)Ⓐボタンを押してアラーム1～5表示にし、Ⓑボタンを押すと「時」が点滅し、アラームマーク「**ALM**」が点灯します。
またアラーム・時報使用状況表示も点灯します。
*くわしくは「アラーム・時報を鳴らすには」をごらんください。



(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右図のように移動します。点滅個所がセット可能です。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、Ⓐ またはⓁボタンで鳴らしたい時刻にセットします。
※それぞれ1～2秒押し続けると押している間早送りができます。



(4)Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



●アラーム、時報を鳴らすには

各アラーム表示(アラーム1～5)、時報表示のとき、Ⓛボタンを押すごとにアラームマーク「**ALM**」、時報マーク「**SIG**」が点灯、不点灯をくりかえします。アラームマーク・時報マークおよびアラーム・時報状況表示が点灯しているときに各々鳴ります。
また、同時にアラーム・時報使用状況表示の各アラーム部も点灯・不点灯をくりかえします。
※アラームおよび時報を鳴らさないときは、Ⓛボタンを押して「**ALM**」または「**SIG**」が点灯していない状態にしてください。



(アラーム・時報使用状況表示)

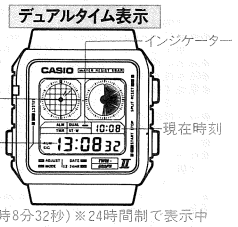


〈現在アラーム1、アラーム4、時報を使用中〉

デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがい©ボタンを押してデュアルタイム表示にします。

確認 ⇨ DUAL ▬——インジケーターの点灯

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(秒は現在時刻と連動)また現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、現在時刻、デュアルタイムをそれぞれ12時間制表示、24時間制表示にセットすることができます。



(13時8分32秒)※24時間制で表示中

●12/24時間制表示の切替え

デュアルタイム表示のときⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。
※12時間制表示のときは午前A、午後Pが点灯します。

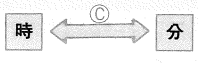


●セット のし かた

(1)デュアルタイム表示のときⒷボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに以下のように点滅個所が変わります。
※点滅個所がセット可能です。





(3)(点滅個所が)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつもどります。1～2秒押し続けると押している間早送りができます。
※Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐ・Ⓛボタンで表示を合わせます。



(4)Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



●鳴っている電子ブザーを止めるにはいずれかのボタンを押します。
●タイマー・ストップウオッチの計測をストップしたとき、アナログ部の1/10秒の表示の針がずれているときがありますが、精度には影響ありません。(正確な数値はデジタル部に表示されます。)
●他表示への切替え　ストップウオッチやタイマーを使用中にⒸボタンを押して時刻表示など他の表示にしてもその計測には影響ありません。ただしストップウオッチでスプリット計測時(SPLITが点灯)にこの操作をしますとスプリットは解除されます。
●モニターアラーム　アラーム表示のとき、Ⓐボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。
●自動復帰機能　時刻・カレンダーのセットやアラーム、デュアルタイム、タイマーのセットで表示を点滅させたままにしておくと2～3分後自動的にセット前の表示に戻ります。

タイマーの使い方……操作のしくみにしたがい©ボタンを押してタイマー表示にします。

確認 ⇨ ▬ TMR——インジケーターの点灯

タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間の電子ブザーとアナログ部の点滅で知らせます。
※24時間にセットする場合は0:00′にセットします。

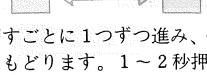


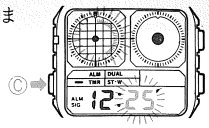
●セットのしかた

(1)タイマー表示のとき Ⓑボタンを押すと(秒、1/10秒は消えて)「時」が点滅します。

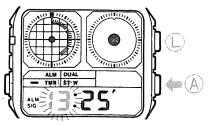


(2)Ⓒボタンを押すごとに以下のように点滅個所が変わります。
※点滅個所がセット可能です。





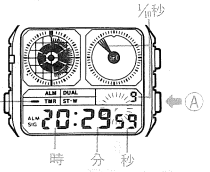
(3)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつもどります。1～2秒押し続けると押している間早送りできます。
※Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐ・Ⓛボタンで表示をあわせます。



(4)Ⓑボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。
※時、分、秒、1/10秒まで表示します。



(5)Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を1/10秒単位で表示します。



●ロスタイムのある場合

タイマー表示のときⒶボタンはスタート/ストップボタンになり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。
※Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

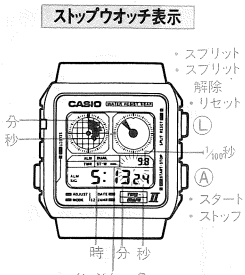
●リピート(繰り返し計測)

タイムアップ後(のこり時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。計測の途中で最初からやり直すときはⒶボタンで計測ストップ後、Ⓛボタンを押すと計測前の状態になります。

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがい©ボタンを押してストップウオッチ表示にします。

確認 ⇨ ST·W ▬——インジケーターの点灯

ストップウオッチは1/100秒の計測単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測　Ⓐ(スタート) ⟶ Ⓐ(ストップ) ⟶ Ⓛ(リセット)

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後、リセットせず再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ(スタート) ⟶ Ⓛ(スプリット計測) ⟶ Ⓛ(スプリット解除) ⟶ Ⓐ(ストップ) ⟶ Ⓛ(リセット)

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ(スタート) ⟶ Ⓛ(1着がゴール 1着タイム表示) ⟶ Ⓐ(2着がゴール) ⟶ Ⓛ(2着タイム表示) ⟶ Ⓛ(リセット)

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル・アナログ表示
基本機能：アナログ部　時・分・秒
デジタル部　時刻表示＝時・分・秒・午前/午後
カレンダー表示＝年・月・日・曜日
フルオートカレンダー(2019年まで)
アラーム機能：時刻アラーム1～5　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝1/10秒　セット単位＝分　電子ブザー＝10秒間
計測範囲＝24時間
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒アジャスト)
アラームセット機構、デュアルタイムセット機構、タイマーセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替え機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：CR-1616(電池別途販売)
電池寿命：約2年(1日当り、電子ブザーを20秒使用した場合)